

災害人文学研究会 第1回研究会

スマトラ島沖地震から 東日本大震災を考える： 震災映像のアーカイブ化と 活用をめぐる

2018年3月2日

18:00-19:30

@東北大学附属図書館
多目的室

問い合わせ先：

saigaijinbungaku@gmail.com

(事前申し込み不要、入場無料)

主催：震災映像のアーカイブ化
と活用研究会

共催：東北大学東北アジア研究
センター災害人文学ユニット

東日本大震災から7年目を迎えようとする今日、2011年より遡ること7年前に発生したスマトラ島沖地震の経験を分かち合う場をもつ。人類史に残る津波災害がインドネシア・アチェの人々によっていかに経験されたかを知ること、翻って東日本大震災という経験をあらためて捉え直すことを試みたい。アチェで映画製作およびリサーチ活動に従事してきたMahruza Murdani氏をゲストとして招聘し、ドキュメンタリー映画をもとにディスカッションの場をもつことで、震災にかかわる様々な視点を学びあう場とする。

上映映画：

『海からのメッセージ』
("Pesan Sang Samudera:
Catatan dan Harapan 10
Tahun Tsunami Aceh")
[日本語および英語字幕つき]
監督：Mahruza Murdani

スマトラ島沖地震（2004年）から10年経過したインドネシア・アチェの歩みを振り返りつつ、震災の意味を様々な視点から考える映画作品。